

スカウト おおいた

第64号

2022年10月 3日 発行

公益社団法人

日本ボーイスカウト大分県連盟

編集 県連盟総務委員会

就任ご挨拶

理事長 池邊 晴美

三指

皆様こんにちは。今年度の県連総会で理事長職を拝命いたしました池邊晴美(いけばはるよし)です。県連ではこれまで副理事長として、前戸高理事長のアドバイザーのような仕事しかしておらず、理事長職の重圧に押し潰されている日々ですが、事務局長、コミッショナー、理事の方々、各団の指導者皆様のご協力を仰ぎ、大分県連を盛り上げてゆきたいと思っております。



さて、今年は日本連盟発足 100 周年に当たり～自分の f をさがせ～のテーマのもとに 18NSJ が中央会場、サテライト会場、各県連会場で開催され、それに参加されたスカウトの皆さんはきっと素晴らしい体験をされたことでしょう。日本一プログラム、全会場をオンラインで繋いだ大集会はどうかだったですか。新型コロナ感染症で私達がこれまで体験した一会場に大人数が集まったお祭りのような NSJ は開催されませんでした。日本中のスカウト運動関係者全員が知恵を絞り、これからのこの運動の道標を示してくれたものと 18NSJ 開催を成し遂げた日本連盟、ブロック関係者、各県連の方々、各団、各隊の指導者、それにご協力いただいた育成会、保護者の皆様に敬意を表します。日本のボーイスカウト運動は 100 年という節目を迎えましたが、これは通過点に過ぎないと思います。

これからの 100 年に向かってさらなる高みへと向かうために、どのような形でこの運動を行ってゆけばボーイスカウト運動関係者皆様の笑顔が得られるか、「ちかい」と「おきて」をコンパスにし、名誉と誇りのチーフを巻いて進んでゆきますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

弥栄

退任ご挨拶

副連盟長 戸高 有基

三指

6月に開催された大分県連盟の総会において理事長を退任致しました。

平成 16 年に理事長を拝命し、これまで 18 年間に亘り皆さまのご支援を賜り本連盟の運営に携わって来ました。世界スカウトジャンボリー、日本スカウトジャンボリーへの参加派遣や県連盟野営大会などの各種行事の開催運営には県下各団・隊のご協力を頂きました事に感謝申し上げます



平成 18 年の社団法人化、平成 24 年の公益社団法人への組織改革を経て、大分県連盟の運営が安定的になったことが良かったと思います。この間、歴代の事務局長をはじめお手伝いを戴きました職員の皆さま、県連盟役員の皆さまには無償の奉仕を賜り、大分県ボーイスカウト運動の発展継続に努めて戴きました事に感謝申し上げます。

現在の少子化の問題は本運動にも大きな課題であります。しかしながら、ボーイスカウト運動の価値は不変で重要なものであります。今こそ必要とされる運動だと考えます。私も微力ながら引き続き副連盟長としてお手伝いを致しますので宜しくお願い致します。

池邊理事長を中心に大分県連盟が発展活躍されます事を祈念してご挨拶と致します。

弥栄



各会場のようす

**18th
NIPPON**
SCOUT JAMBOREE
ALL OVER JAPAN

中央会場

熊本サテライト会場

住吉浜会場

おおつる会場

今回のキャンプは、ちかいとおきてについてより深く考えさせられた六泊七日でした。

日向会場には、「日向コイン」という、優秀班になった班や何かの対決で勝利した班が隊長から、コインを頂けるといいう仕組みがありました。私の班の仲間はスカウト技能が私より身につけていて、最初は素直にすごいと思いました。班全員が「日向コインを一番集める」ということを目標にして、日々はげまし合いながら成長していくことができました。いつしか、「日向コイン」が私たち班員とを結ぶ要となり、最初はきついと思っていた六泊七日が不思議と楽しい六泊七日になりました。



スカウトメッセー
第18回日本スカウトジ

そんな楽しかった六泊七日で一番楽しかった行事は、ジャンボリー大集会でした。都道府県プラカードを持つ際は緊張しましたが、県の代表として、最後までやり通すことができました。

これからも、18NSJで学んだことや楽しかったこと、きつかったことを胸に、日々、ちかいとおきてを実行していきたいと思います。

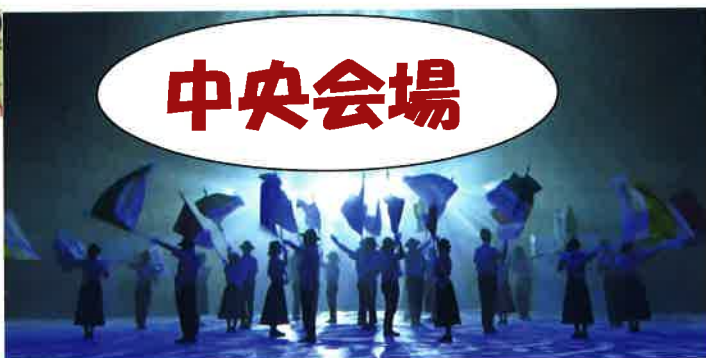
大分県代表スカウト 西山文菜



最初は不安だったジャンボリーですが、同じ班の人と協力し、6泊7日のキャンプで仲良くなり、とても充実したジャンボリーになりました。この経験を活かし、さらに成長していきたいです。

大分県代表スカウト 長田里美

中央会場



僕は初めてジャンボリーに参加しました。参加して思ったことは今流れている時間や体験は二度と経験することができない、ということです。

最初にジャンボリーが五泊六日だということを聞いた時正直行きたくありませんでした。なぜなら真夏のキャンプは暑くて汗でベトベトになるのにそれが六日間もつづくからです。

しかし、いざ芦北の会場についてみるとぬれたタオルを首にまいたり、冷感シートで体をふくなどの対策をする事で五泊六日の間快適にすごす事ができました。

この体験はクーラーのきいた部屋にとじこもっていたら経験できなかったと思います。

今回のジャンボリーは多くの人に出会いましたがこれも芦北という会場、ジャンボリーという行事、そこに居合わせた人という条件があってこそこの体験だと思います。

最後に今回学んだことをいかして、これからの一分一秒を大切にしていきたいと思います。

大分第5団 ボーイ隊 都留 暁



開会式県連旗入場

ゲートは温泉宿の雰囲気でも好評でした。



熊本サテライト会場

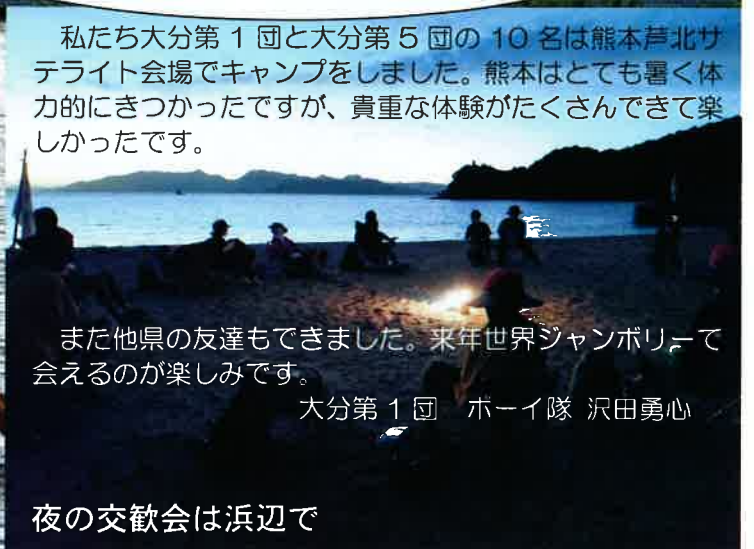
私たち大分第1団と大分第5団の10名は熊本芦北サテライト会場でキャンプをしました。熊本はとても暑く体力的にきつかったですが、貴重な体験がたくさんできて楽しかったです。

また他県の友達もできました。来年世界ジャンボリーで会えるのが楽しみです。

大分第1団 ボーイ隊 沢田勇心



ペーロン体験



夜の交歓会は浜辺で



18NSJ住吉浜会場では、大分第2団・中津第8団・北九州第37団の3団が集まり、5泊6日の野外生活を過ごしました。いつもとはちがう環境、仲間たちの中で楽しく活動し、様々なことを吸収しながら、成長していく姿はとてもスカウトらしい姿でした。

住吉浜会場



杵築散策



サイトゲート





班旗立てゲーム



今回のジャンボリーはツバメ班として最後のキャンプでした。日が経つにつれ班全体が成長していき、班旗立てで良い結果が残せたので良かったです。

ボーイ隊 ツバメ班 班長 古木陽光

私は今回が初めてのジャンボリーでした。ずっと楽しみにしてきた18NSJで、たくさんの良い経験ができ、いい思い出になりました。

ベンチャー隊 上班 橋本桜子



当番班交代式





湯布院町の興禅院を探索



久留島武彦先生の世界を旅する部屋

18NSJでは、班旗立てや火起こしなど班のメンバーで協力することが多くみんなで色々な作戦を立ながら楽しむことができました。他の班のスカウトと交流することも出来てすごくいい経験になりました！

別府第9団 ポーイ隊 トラ班班長 石川紗羽

私が一番印象に残っていることは、キャンプサイトでの生活です。過酷な水汲み、寝苦しい熱帯夜等、きつい事も多かったですが、自分を成長させてくれました。また、4日目に行われた「大集会」では、全国のスカウトとのつながりを感じることができました。ありがとうございました。

別府第9団 ベンチャー隊 前岡 誠一郎



おおつるの地よ、
ありがとう。
弥栄。弥栄。弥栄。



スカウトタウン・サービスを行うベンチャースカウトたち



フォレストアドベンチャー

日本一プログラムでは、各団のボーイ隊で、合同班を編成をして参加しました。この合同班では、普段、あまり交流のない他団のボーイスカウトとの協働活動が、良い刺激となり、より交流を深め、楽しく活動を行うことができました。

そして、由布第2団の繋がりだけでなく、他団との横の絆をより深め、ボーイスカウト同士により一層の信頼と友情を築くことができました。

由布第2団 ポーイ隊・ベンチャー隊

私は今回の夏キャンプで初めて班長になりました。5泊6日という長期キャンプで、みんなをまとめられるか不安だったけど仲間の助けもあり、無事に役目を果たすことができましたと思います。

1日目の設営では、終わってない人を手伝ったり何が必要なか自分達で考え行動できました。夕食では、役割分担をしてスムーズに料理ができました。だけど、自分達のことしか考えず、隊長や副長達の分まで準備ができず、心配りができなかったことを反省しました。

2日目は由布と合同で湯布院探索に行きました。地図を見ながら、みんなで意見を出し合い、目的地まで楽しく行くことができました。

3日目は、寝坊することもなく時間に余裕を持って登山にのぞむことができました。登山では、団でまとまって登ることができなかったことが反省点です。

4日目の日本プログラムでは他の団と力を合わせてプログラムを成功させることができました。夜には、花火をして他の団と交流を深めることができ良かったです。

5日目のフォレストアドベンチャーでは怖くて動けない子に声をかけたり、グループ同士で助け合いながら楽しんでいました。最後の夕食作りも各自分担し、一番おいしい夕食ができました。天候に恵まれない日もあったり、体調をくずした子もいたけど、無事にキャンプを終えることができ、よかったです。

大分第9団 シェパード班 班長 東原 小鞠



日本プログラム 火起こし

おおつる会場



由布岳東峰山頂

久しぶりのキャンプで、湯布院探索やフォレストアドベンチャー体験などの楽しいプログラムに、他の団と一緒に参加できて楽しかったです。

特に、由布岳登山では、石がゴロゴロとしていて歩きにくく、登り下り合わせて5時間もかかりましたが、東峰山頂に立つことができ、きれいな景色を見ることができて、感動しました。

また、スカウトタウン・サービスを他の団のベンチャーと一緒に行いました。初めは緊張しましたが、自分達の思いを伝えることができましたと思います。挑戦して良かったです。

今後は、設営・撤営に時間がかなりかかったのと、朝の点検の時間厳守ができていなかったのを、素早くできるようにしていきたいと思います。

大分第9団 ベンチャー隊 金子 歩未

ジャンボリーサマーでは、同じ班員や他の隊のスカウトと協力してテントを張ったりご飯を作ったりしていくうちに少しずつ効率が良くなっているのを感じて楽しかった。それとなにより、長期キャンプに参加できたことがよかったです。

津久見第1団 ボーイ隊 石井晃平



大集会後に行われた生演奏

ジャンボリーサマーでは、初めてスカウトタウンサービスを自分たちベンチャーが担当することになり緊張しましたが、他団のスカウトと協力して思いを伝えることができたことがよい経験になりました。これからも自分の考えに自信を持っていきます！

津久見第1団 ベンチャー隊 天富和季



見学に来たカブスカウトたち

パイオニアリング

ベンチャースカウトはパイオニアリングで自動開閉橋を製作。図面作製・模型製作など計5回の事前集会を行い、8/20~21 護国神社で実際の川に橋を架けました。今年は4名がパイオニアリング章を取得しました。



丸太を組むベンチャースカウトたち。



だいぶ形ができてきました。



完成した自動開閉橋

2022 全国防災キャラバン IN 由布・挾間

7回目を迎えた全国防災キャラバン。

今年度は、イオングループさんの御協力を頂きイオン挾間店で開催することができました。

- ① みんなの困ったことを体験してみよう
- ② みんなの困ったを助けてあげよう
- ③ ボーイスカウトの災害ボランティア
- ④ わたしのみらい・まちのみらい



ブロック塀がこわれる・・・



わたしのみらい まちのみらい

の4コーナーを設け、たくさんの家族のみなさんに体験して頂きました。

また、由布市挾間青少年健全育成市民会議の御後援を頂き、チラシ配布や呼びかけのお陰で店舗をはじめ地域と連携できたイベント開催となりました。

県連盟 今後の予定	
10月23日(日)	ボーイスカウト講習会 (坂ノ市公民館)
11月 3日(木)	ビーバーフェスティバル (中津市)
12月 4日(日)	カブフェスティバル (大分市美術館)
1月22日(日)	スカウトフェスティバル